

# 平成24年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月2日

上場会社名 株式会社 ウエスコ

上場取引所 大

コード番号 9648 URL <http://www.wesco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山地 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 奥山 一典

TEL 086-254-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年12月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年7月期第1四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成23年10月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第1四半期	1,014	7.6	△186	—	△177	—	△182	—
23年7月期第1四半期	942	△27.8	△216	—	△210	—	△272	—

(注) 包括利益 24年7月期第1四半期 △185百万円 (—%) 23年7月期第1四半期 △280百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第1四半期	△11.42	—
23年7月期第1四半期	△16.81	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第1四半期	11,671	10,141	86.9
23年7月期	12,125	10,400	85.8

(参考) 自己資本 24年7月期第1四半期 10,141百万円 23年7月期 10,400百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	4.00	—	3.00	7.00
24年7月期	—	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	8,300	△5.9	270	0.1	230	△25.1	170	2.2	10.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの主要事業である建設コンサルタント事業は、官公庁を主な受託先としており、成果品の納期が年度末である3月末に集中する傾向があります。また、第2四半期末の時点において、成果品の納期の変更が頻発する傾向にあるため、第2四半期連結累計期間の業績予想が困難な状況であります。これらの状況から、当社グループは当面の間、第2四半期連結累計期間の業績予想の公表を差し控させていただきます。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 2「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年7月期1Q	17,724,297 株	23年7月期	17,724,297 株
② 期末自己株式数	24年7月期1Q	1,852,719 株	23年7月期	1,687,772 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年7月期1Q	16,029,691 株	23年7月期1Q	16,236,837 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。上記業績予想に関する資料は、添付資料P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、東日本大震災の影響による生産活動の混乱から回復しつつあるものの、欧州の財政危機、長期的な円高などの要因により、依然として先行きの不透明な状態にて推移しております。

このような経済環境のなか、当社グループを取り巻く市場環境は、公共投資予算の縮減ならびに業者間の価格競争の激化により、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは多様化・高度化する顧客ニーズに対応すべく、営業基盤の強化ならびに技術力の向上に努めてまいりました。また、さらなる生産効率の向上および徹底した原価の低減を図ることにより、市場競争力を強化してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、10億1千4百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。損益面におきましては、営業損失は1億8千6百万円（前年同四半期は2億1千6百万円の営業損失）、経常損失は1億7千7百万円（前年同四半期は2億1千万円の経常損失）、四半期純損失は1億8千2百万円（前年同四半期は2億7千2百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業であります総合建設コンサルタント事業は、その受注の大部分が官公庁からのものであり、受注業務の納期は官公庁の事業年度末である3月に集中しております関係上、当社グループの売上高は第3四半期以降に集中する傾向があります。また、指定管理事業においては、神戸市立須磨海浜水族園の管理運営を行っており、春や秋の行楽シーズンやゴールデンウィーク、夏休み期間に来園者数が多いことから、売上高についても第1四半期および第4四半期に多くなるといった季節的変動があります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億5千4百万円減少し、116億7千1百万円となりました。

流動資産については、「有価証券」が9億円、「金銭の信託」が3億円減少し、「未成業務支出金」が7億円増加しております。結果として、流動資産合計では前連結会計年度末に比べ5億4千3百万円の減少となりました。

固定資産については、減価償却などの実施により「有形固定資産」および「無形固定資産」が3千4百万円減少し、「出資金（その他）」が7千9百万円、新規取得等により「投資有価証券」が4千6百万円増加しております。結果として、固定資産合計では前連結会計年度末に比べ8千9百万円の増加となりました。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億9千4百万円減少し、15億3千万円となりました。

流動負債については、「未成業務受入金」が9千6百万円増加し、「未払金（その他）」が1億6千2百万円、「未払消費税等（その他）」が1億3千万円減少しております。結果として、流動負債合計では前連結会計年度末に比べ1億8千8百万円減少となりました。

固定負債については、「長期未払金（その他）」3百万円、「リース債務（その他）」が2百万円減少しております。結果として、固定負債合計では前連結会計年度末に比べ6百万円減少となりました。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億5千9百万円減少し、101億4千1百万円となりました。これは四半期純損失の計上等により「利益剰余金」が2億3千1百万円減少したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主要事業である総合建設コンサルタント事業は、官公庁を主な受託先としており、成果品の納期が年度末である3月末に集中する傾向があります。また、第2四半期末の時点において、成果品の納期の変更が頻発する傾向にあるため、第2四半期連結累計期間の業績予想が困難な状況であります。これらの状況から、第2四半期連結累計期間の業績予想を公表しておりません。

通期の業績予想については、平成23年9月12日に公表しました連結業績予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,647,591	1,656,368
受取手形及び完成業務未収入金	367,990	317,070
有価証券	1,900,986	1,000,334
商品	8,238	7,965
未成業務支出金	1,162,933	1,863,549
販売用不動産	180,061	178,084
原材料及び貯蔵品	21,021	21,109
金銭の信託	2,100,000	1,800,000
その他	155,009	156,329
貸倒引当金	△15,333	△16,171
流動資産合計	7,528,499	6,984,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,494,779	1,481,895
土地	1,807,925	1,808,690
その他（純額）	160,828	144,456
有形固定資産合計	3,463,533	3,435,042
無形固定資産	76,717	70,698
投資その他の資産		
投資有価証券	877,955	924,583
その他	250,373	326,875
貸倒引当金	△71,138	△70,346
投資その他の資産合計	1,057,190	1,181,112
固定資産合計	4,597,442	4,686,853
資産合計	12,125,941	11,671,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
業務未払金	267,991	342,872
未払法人税等	75,174	17,909
未成業務受入金	590,719	686,783
受注損失引当金	3,666	4,463
その他	569,691	266,906
流動負債合計	1,507,243	1,318,935
固定負債		
資産除去債務	47,598	47,771
その他	170,139	163,726
固定負債合計	217,738	211,498
負債合計	1,724,981	1,530,434

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,282,648	3,282,648
資本剰余金	4,139,404	4,139,404
利益剰余金	3,386,522	3,155,432
自己株式	△428,522	△454,966
株主資本合計	10,380,052	10,122,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,907	18,540
その他の包括利益累計額合計	20,907	18,540
純資産合計	10,400,959	10,141,059
負債純資産合計	12,125,941	11,671,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)
売上高	942,452	1,014,147
売上原価	741,012	795,734
売上総利益	201,439	218,413
販売費及び一般管理費	418,239	405,023
営業損失(△)	△216,800	△186,609
営業外収益		
受取利息	2,365	2,139
受取配当金	145	145
受取賃貸料	13,749	16,042
その他	6,901	8,807
営業外収益合計	23,160	27,134
営業外費用		
賃貸費用	16,467	17,817
その他	60	157
営業外費用合計	16,528	17,975
経常損失(△)	△210,168	△177,450
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,311	—
固定資産売却益	143	—
特別利益合計	1,454	—
特別損失		
投資有価証券評価損	31,960	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,485	—
特別損失合計	66,445	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△275,159	△177,450
法人税、住民税及び事業税	△2,172	5,530
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△272,987	△182,980
四半期純損失(△)	△272,987	△182,980

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△272,987	△182,980
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△7,379	△2,367
その他の包括利益合計	△7,379	△2,367
四半期包括利益	△280,366	△185,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△280,366	△185,348
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

該当事項はありません。